

No.	分野	項目	頁	意見・要望	担当課	回答(具体的な対応等)
1	総合戦略	にぎわう上市 重点施策 ア	P17	正直なところ、情報リテラシーに関する教育が全くなされていないと認識する。成人の教育プログラムを至急立ち上げるべき(子供は親の影響力大、親の背を見て育つ)。生涯学習にも組み入れて欲しい。	企画課 産業課	情報リテラシーに関する教育については、総合戦略(おおかみこどもプロジェクト)の基本目標2の「にぎわう上市」の取組で、デジタルワークの人材育成、ICTによる地域活性化を具体的な事業として立てています。 また、基本計画のにぎわう上市のうち「2-5-3デジタル社会での生活力の確保」において、「児童・生徒や高齢者に対する情報リテラシーを向上させ」としています。今後はこれらの取組の推進を図ります。
2	策定の趣旨等	計画の趣旨と役割	P23	第1期総合戦略の成果や課題を調査・分析した上で、第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定とあるが、成果や課題を調査・分析した結果は、公表されることはないのか。	企画課	第1期の総合戦略の成果や課題の分析については、第2回上市町総合計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略審議会の資料1で報告させていただいており、この結果を踏まえた計画案を作成しています。  なお、第2回上市町総合計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略審議会の資料につきましては、上市町ホームページで公開しています。  ※ 公開場所:トップページ→くらしの情報→くらし・環境→行政情報→第8次上市町総合計画及び第2期上市町まち・ひと・しごと創生総合戦略→第2回総合計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略審議会→【資料1】H31現行計画の総括報告書200624.docx
3	策定の趣旨等	将来に向けたまちづくりの課題	P31~35	第7次での計画に対する達成状況はいかなるのか。第7次での未達・反省事項はないのか。第7次の実施・達成状況を反映した第8次でなくては、長期計画が画餅になりかねない。第8次計画の最初にこのことに触れて、「変えてはいけないもの」(計画を変えないで引き続き堅持・実行するもの)「変えなければいけないもの」(反省を踏まえてそれまでとは異なる新たな方で実行すべきもの)を明確にして欲しい。	企画課	第7次総合計画における実施・達成状況、未達・反省事項については、基本構想の第3編「4 将来に向けたまちづくりの課題」において、昨年度実施しました町民・各団体・事業者・各課の取り組みの振り返りの結果を踏まえ記述しています。詳細な資料については、第2回上市町総合計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略審議会の資料1で報告させていただいております。 また、第8次総合計画では、基本理念の検討時、案の一つに「変えるべきところは変え 守るべきものは守る」を挙げており、審議会での議論の結果、基本目標の中に「変化と継承」や「守るべきものを守り」といった形で取り入れるとともに、総合戦略(おおかみこどもプロジェクト)でかみいち総合病院を「守る」、デジタル技術の活用の「チャレンジ」など重点施策を立てています。  加えて、ご意見を踏まえ、基本計画のうち、施策の内容について、各項目の冒頭の記号で「★」を新規施策、または前期計画から新たな方向性を取り入れた施策に、「○」を引き続き適時改善を図りながら推進する施策として印をつける修正を行いました。
4	つながる2 教育・文化	2-1学校教育の 充実	P42、43	親が自信をもって子供を地元学校に通わせることができるように、教育施策を計画・実施してほしい。教育の基盤となる国語教育、語彙力の醸成と「考える力」の育成強化に、町内の小中高校とも全力を挙げて欲しい。	教育委員会 事務局	国語力や考える力を培うことについては、「2-1-1教育内容の充実」において、「基礎的な学力の定着を図ることにより、自ら考える力を培う」としており、この方向性に基づいて、今後も取り組んでまいります。
5	にぎわう2 基盤整備	2-3交通網の整備・維持・確保	P63、64	まちの公共交通機関は頭の痛い問題ですね。アメリカのLimousine on demandの方式が便利。米国を旅行した際、確実に目的地に時間までに相乗りで行ける手段で、リーズナブルな値段でよく利用した。大きい空バスで過疎地を走らせるよりはよほど経済的で利便性が高い。また、ドライバーシェア(共助ライド)のシステムを立ち上げると良いのではないのか。	企画課	公共交通については、「2-3-2持続可能な公共交通体系の構築」において、「今後も町民や訪問者に広く公共交通機関の利用促進を図る」、「町営バスについては、利用者のニーズを把握しながら、必要に応じて実態調査や調査結果に基づく改善策を実施していきます。」としており、今後も公共交通機関の利用を呼び掛けるほか、より良い公共交通の在り方について調査・研究を行います。
6	ささえあう1 健康・福祉	1-2健康づくりの 推進 1-3地域医療の 推進	P72~75	かみいち総合病院に対しては、病気に罹った人を治療することも必要であるが、病気に罹らないようにするため、より多くの人員と予算を割いて欲しい。町民への健康リテラシーの啓蒙・教育の強化も喫緊の課題で、総合病院を核に運動を展開して欲しい。そうすることで全町民がよりハッピーになれるし、町全体の福祉費用・医療費用を軽減できると確信する。	総合病院 事務局 福祉課	かみいち総合病院では、生活習慣病の早期発見が早期治療につながるのとから、各種健診を実施しているほか、地区公民館において健康や病気についてのミニ講座、リハビリ体操、なんでも相談等を行っており、今後も継続して取り組みます。 また、町による健診や健康教育等保健事業を通じて、町民の主体的な健康づくりを促進し、生活習慣病予防を推進します。
7	ささえあう2 生活安全	2-1消防・防災 体制の強化	P76、77	「ICT等の新しい技術の活用について調査・研究を進める」とあるが、ITの潮流に鑑みて、計画に調査・研究と謳うほどのんびりしたフェーズではないと思う。短期の実行計画を立て、即刻コンペでも行って絞り込み、すぐに具体化に着手すべき課題である。	総務課	AIや5G等の新しい技術の具体的な取り組みの実施については、新しい技術を活用することによる効果や、導入・運用コスト、導入に伴うリスク等の点で十分な調査・研究を踏まえる必要があることから、今後の検討課題とさせていただきます。 また、既存のICT技術については、有用なものについて採用を進めます。
8	ささえあう2 生活安全	2-1消防・防災 体制の強化	P76、77	災害時の防災訓練への支援が謳われていますが、「トリアージ」の教育が入っているか。全町民に周知させ共通認識のもと、万に備えて勉強しておきたいものである。	上市消防署	「トリアージ」は、救急医療の経験が豊富であり、かつ「トリアージ」の知識や技術、決断力に富んだ者が行う必要があります。災害現場では医師、救急隊員(救急救命士)が中心となり、主として搬送順位、搬送医療施設を決定するために行います。今後住民へは防災訓練等の中で周知し、「トリアージ」の認知度が高まるよう努めます。

No.	分野	項目	頁	意見・要望	担当課	回答(具体的な対応等)
9	ささえあう3 行財政運営	3-2行財政運営 の推進	P83	町民へのリカレント教育もさることながら、町職員のリカレント教育をもっと徹底して欲しい。 企業と違って、部下を抱えることの少ない地方行政組織では、on-the-job-trainingといった職場教育が極めて不十分。	総務課	町職員への研修については「3-2-1 利便性と質の高い行政サービスの推進」において、「人材育成に主眼を置いた研修体系により、職員の能力・資質の向上を図ります。」としています。時代の要請に対応していくため、今後とも研修等を通じて職員の意識改革と能力開発を推進します。
10	計画全体	-	-	町の人口問題について記されているが、日本の隣国で人口増政策に成功している国の施策を調査分析した上で、真似るのではなく日本版、上市町版を立案して欲しい。 ITの発達で職住の離れた働き方も可能になったことから、IT革命を謳った町おこしキャンペーンを行ってはどうか。町民全員にITリテラシー教育を行い、老人先進国を逆手に、その課題をITで解決・産業化し、産業育成につなげる発想がぜひとも必要。「徘徊老人対策」「買い物弱者」「オンデマンド診療」「水田・用水管理」「山林下刈り」「鳥獣対策」等々、ITを活用できる分野がブルーオーシャン。 こうしたことを手掛ければ、若者も夢をもって取り組んでくれ、人口問題も解決するのではないか。	企画課	人口問題については、今後も国や他市町村の事例を調査・研究しながら目標人口の達成を目指します。 ITを活用した取組については、総合戦略(おおかみこどもプロジェクト)の基本目標2の「にぎわう上市」の取組で、デジタル技術の活用による雇用の創出や地域活性化等の施策を立てており、今後これらの推進を図ります。